



中央地区お花見会に参加して

平林 啓太郎 (六九町会)



小雨も降る中、大勢の皆さんが参加



今年も楽しみにしていた中央地区のお花見会が、4月15日(土)に松本城の庭園で開催されました。

当日は曇り模様で、宴会の終了頃にはパラパラの雨となりましたが、約100名近くの参加者があり賑やかに花見を楽しみました。

お城をバックに咲いた桜はととても美しく、花見の宴に花を添えてくれました。松本城には外国から訪れるお客様も多く、地面に座ってお酒を飲む姿が珍しいのか、何名かの方が私たちの宴会風景を写真に収めて行かれました。

また、この華やかな景色を

バックに、結婚式の晴れ着姿で写真を撮られるカップルも何組が見かけられ、公園は大勢の人々で賑わっていました。このような桜の下で、美味しい料理をつまみ、お酒をいただくながら皆さんと楽しくお話ができ、また何年振りかの再会もあり、更に宴が盛り上がりました。

私は退職後に人々とお付き合いする機会が急に少なくなりましたが、行事を通して多くの近隣の方々と顔見知りになれた事が大変良かったと思っております。最近、人間関係が昔に比べて希薄になったと言われていますが、災害高齢化等の身近に抱える問題に、近隣の方々との結びつきができる事で、共存、協力の芽が育つと嬉しいですね。そんな意味でも、ぜひこのような交流の場を絶やすことなく続けていかれることを願っています。また特に若い方々も、お子さん連れで参加して下さると地域の活性化につながっていくと思います。

最後に地区役員の皆様には、お花見の企画、事前準備や場所取り等の多くのご苦勞があったと思いますが、心からの感謝とお礼を申し上げます。

長元坊 チョウゲンボウ

松本神社でのラジオ体操にNHK多胡肇さん出現



多胡肇さんと一緒に (多胡さん：前列右から5番目)

格である多胡肇さんであった。所用で松本に来られ、松本神社でやっているの聞き来られたそうである。

たかが20名余りでやっている所に、体操関連では日本中に知られている指導者、多胡肇さんが見えたという事は、偶然であれ、長年続いているお陰と誇りに思う。

そこで松本神社のラジオ体操は何年位続いているのか、二三尋ねてみたが、40年?という事ではっきり解らない。

いつ頃から?どなたの発案で?どんな形で?始まったのか知りたいし、興味のわく所である。

ちなみに、旧ラジオ体操は昭和3年(89年前)、現行のラジオ体操は昭和26年(66年前)に始まったそうである。

どちらにしろ、長年続いているのは、ラジオの準備等々、陰で支えてくださる方々のお陰、感謝感謝である。

minomusi



境内には、早朝三々五々集まり、6時半からNHKラジオ体操が始まる。

4月15日(土)何時もの通り体操が始まると、中に凄く上手なカッコいい方がいた。ある方がお聞きすると、NHKラジオ体操指導員リーダー

うれしいことが たくさんありました

前中央地区
地域づくりセンター長

米山 順一

信大農学部の前先生だった玉井袈裟男さんが人文学部の坂本博先生に、かつてこう尋ねました。「幸福って何ですか？」坂本先生が答えます。「古今東西の学者が幸福とは何かということ定義しようと思いましたが、誰も的確に定義することができませんでした。私も研究者として努力し

てみましたが、不可能でした。降参です。幸福とは何かという定義はできませんでしたが、この頃、幸福がある場所だけは何となく分かってきました。幸福は、人と人の関係の中にあるようですね。少なくともそれ以外のところにはないんだ。」

中央地区での3年間、うれしいことがたくさんありました。私は、中央地区の皆さんから幸せを頂きました。一生忘れません。ありがとうございます。

新任職員紹介



中央地区地域づくり
センター長
米山 順一

市内の各地区に地域づくりセンターができて3年が経過しました。それぞれの地区で特徴を活かした地域づくりが始まっています。

中央地区は、お城を中心とした歴史と文化、そして人情をもっている素晴らしいまちです。地区互助会という組織も生まれています。住民の皆さんが「お互いさま、おかげさま」の精神で、住み慣れた「まちなか」でいきいきと暮らせるように、少しでも支えになれば、と考えております。どうぞよろしく願っています。

早朝歩こう会が 始まりました



第1回早朝歩こう会が4月9日(日)午前6時から開催され、朝から雨が降り出すなか

16名の方々が参加しました。皆さんは太鼓門に集まり、ラジオ体操、昨年の状況報告(参加者人数33人、延べ人数135人、1回平均20人、ゴミ拾い、原先生のウォーキン

犬山城のお姫様

隊本部で大隊長伝令(大隊長の身の回りの世話をする)を務めていた。

10月のある日、大隊長が今日は災害現場を視察に行くので、井上二士も同行するようにと指示を受けた。日中は大隊長の靴の手入れや掃除洗濯に追われていた私は、大隊長の粹な計らいに、小躍りしてジープに乗り込んだ。向かった先は、名古屋市の北25キロ程に位置する犬山市の犬山城だった。道々台風の惨状を目の当たりにしながら犬山城に着いた。

犬山城は、明治の一時期を除いて成瀬家が長く個人所有し、私財を投じて保全管理に努めてきた。だが、明治24年の濃尾地震と、経年劣化、追い打ちをかけたのは、昭和34年9月の伊勢湾台風(死者・行方不明者5,098名)により、天守閣は壊滅的な被害を受け、同36年から4年の歳月をかけて全面的な解体修理がなされて今日に至っている。

奇しくも、私は伊勢湾台風被災地に松本駐屯部隊の災害派遣隊員の一人として赴き、名古屋市の小学校に仮住まいし、第十三普通科連隊第二大隊本部で

見事再建を成し遂げた成瀬家の偉大な功績と、お姫様である成瀬淳子氏の財団運営の心意気に敬意を表したい。

井上 忠男(鷹匠町)



松本城と藤の花をバックに
5月14日(日)開催歩こう会

一日のスタートを朝のウォーキングから始めませんか。「歩こう会」は毎月回覧板でお知らせしております。ぜひ多くの方々の参加をお待ちしております。

(中央地区町内公民館長会、大手公民館)